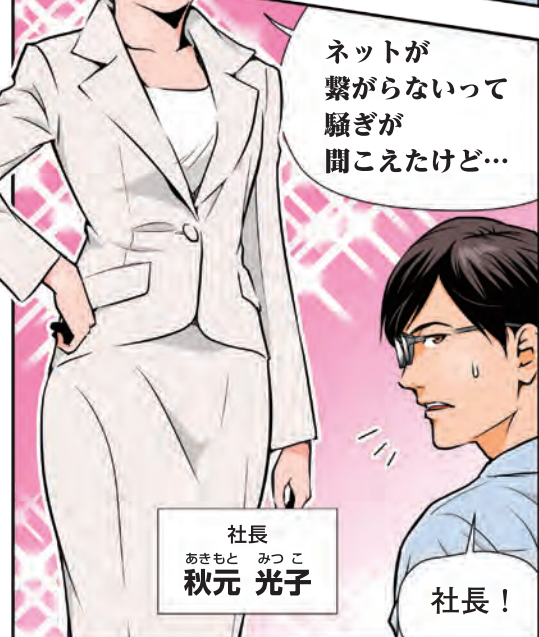


「DHCPサーバー」って おまけだと思いませんか？



業務改革で重要性の増すネットワークを陰から支えるDHCP/DNSアプライアンス！

ある日



「DHCPサーバー」って おまけだと思いませんか？



業務改革で重要性の増すネットワークを陰から支えるDHCP/DNSアプライアンス！

原因は
**DHCPの
一時的な不調**
でした

DHCP？
聞いたことないわ
ネットワークの問題
じゃないの？

普段の運営で
DHCPが表立って
意識されることは
ありませんが

いざ不調となると
こんなにも損害を
もたらすんです

**企業活動に
甚大な影響**

**DHCPサーバーの不調で
ネットワークは利用不能に**

今のうちに
対策を打たないと
今後更なる影響が…

分かりました…

中村さん
あなたの裁量に任せます
早急に対策を講じてください

かしこまりました！

数日後—

色々調査した結果
ソリトンシステムズの
『NetAttest』が最適です

『膨大な処理にも対応できる』
『冗長化対応で容易に運用できる』など
我が社が求めているスペックを
全て揃えています

なるほど…
大企業向けに
大掛かりなスペックを
高価格で提供している
ものが多い中

この NetAttest は
機能と価格のバランスが
我が社にピッタリだわ

中村さん
よくやって
くれましたね

ありがとうございます！

「DHCPサーバー」って おまけだと思いませんか？



業務改革で重要性の増すネットワークを陰から支えるDHCP/DNSアプライアンス！

LAN 内の機器に IP アドレスを自動的に割り振る DHCP サーバー。

Windows サーバーやルーターに「おまけ」的に付いている機能で済まされてしまうことの多く、また、一度設定してしまえばあまり変更することもない DHCP サーバー。IT 管理者ですらその存在を忘れてしまいがちです。しかし、IP 電話やモバイル機器など、IP 機器が増え続ける今日、DHCP サーバーの負荷は増し、その重要性も高まる一方です。安定したネットワークを維持するために、DHCP サーバーの見直しをしてみませんか？

実は重要なネットワークインフラ『DHCP サーバー』

LAN 内の機器に動的に IP アドレスを割り振る仕組み、DHCP。

ひとむかし前までは、オフィスで使う PC は固定 IP アドレスで運用されるのが普通でした。しかし現在では、ノート型 PC への移行や、業務用モバイル機器の普及など、ネットワークのフレキシビリティが求められる中で、DHCP による IP アドレスの自動割り振りが当たり前になってきました。企業のネットワークインフラにおいて DHCP サーバーは今や欠かせない存在です。

ところが、DHCP サーバーは設定が比較的簡単で、一度設定したら変更することがほとんどないため、「忘れられた存在」になっています。

実際、突然 LAN でネットワーク接続ができなくなったときに、ルーターやハブなどのネットワーク機器が原因と推測する人は多いでしょうが、即座に DHCP の障害にまで思い至る人は少ないでしょう。

しかし、DHCP サーバーは、IP アドレスという、ネットワーク通信の根幹を司っているわけですから、電気・ガス・水道などのインフラと同様に、ネットワークのインフラの重要パーツとして、しっかりと管理が大切です。



IP 機器の増加で、「おまけ機能」の DHCP サーバーでは負担が重いかも

ネットワークインフラとして重要な存在ながら、あまり重要視されてこなかった DHCP サーバー。導入の容易さから Windows サーバーやルーターに「おまけ機能」的に付いている DHCP サーバー機能を使われている企業も少なくありません。

しかし近年、IP 機器が爆発的に増え、その負荷が増しつづあります。例えば IP 電話の IP アドレス割り振りに DHCP を使うと、当然ですが電話の台数分だけ割当の負荷が増えるということになります。実際、多数ある IP 電話機器のアドレスリースのタイミングが集中して、アドレス割当にサーバーのリソースが取られてしまい、サーバーが本来提供しなければならなかった重要なサービスの品質低下を招いてしまった、ということも起きています。

また、「おまけ機能」による DHCP サーバーは、冗長化までは考えられていないこともあります。もし、サーバーやルーターが故障した場合、その機器がネットワーク接続に直接影響がなくても、DHCP 機能の停止によって支障をきたす、ということもありません。

「DHCP サーバーが止まったから電話にでられない」とか「メールができない」という事態は、事業に大きな影響を与えかねません。そのような重要なインフラが「おまけ」で運用されているのは、あまりにも心もとないのではないのでしょうか。



『DHCP アプライアンス』で安定した DHCP 環境を

そこで、安定した DHCP 環境を持つネットワーク構築に役立つのが、「DHCP アプライアンス」。DHCP 機能に特化したサーバーアプライアンスです。

DHCP を「おまけ機能」ではなく、「主機能」として装備していますから、パフォーマンスや、安定性は「おまけサーバー」とは比較にはなりません。管理機能や、セキュリティ機能も充実しており、保守やサポート、時流に沿った機能追加も行われます。

また、冗長化やリカバリ機能、分散配置した DHCP アプライアンスを統合管理する機能もあるので、管理者の負担を軽減しながら、高い信頼性をもって DHCP の運用を行うことができるのが、DHCP アプライアンスのメリットです。

「DHCPサーバー」って おまけだと思いませんか？



業務改革で重要性の増すネットワークを陰から支えるDHCP/DNSアプライアンス！

安全・確実な DHCP を適正価格で提供する『NetAttest D3』

ソリトンシステムズの『NetAttest D3』(以下:D3)は、高機能・高性能とお求めになりやすい価格を両立した国産の DHCP アプライアンスです。日本語のドキュメントと GUI でスムーズに使い始めることができます。基本的な DHCP 機能はもちろんのこと、運用・管理機能も充実しており管理者の日々の負担を軽減します。

最大 4 台までの多重化に加えて、25 システムまでの分散配置、統合管理が可能。障害復旧を迅速に行えるバックアップやリストア機能とあわせて、高い可用性や効率的な運用が求められる多くの企業に最適な製品です。

このような高機能を持ちながら、2,500 クライアント対応で 45 万円 (税別)。

最近 IP 機器が増えた、とか、より安定したネットワーク運用を行いたいと考えているネットワーク管理者の皆さん、まずは、『NetAttest D3』で DHCP サーバーの見直しをしてみませんか？

